

---

## 理事会及び総会

---

年度・回数	議題	協議内容
第3回 10月1日	1. 臨時総会の開催について 2. 県ナースバンク委託金の補正について 3. 代議員の選出について 4. 准看護婦卒後教育について 5. 地区支部の運営について 6. 研修会時の役員の当番について 7. 昭和58年度日本看護協会改選役員の推薦について	<ul style="list-style-type: none"> <li>補正予算審議、及び代議員選出のため臨時総会を開催することについて説明（日程 昭和58. 2. 24）</li> <li>ナースバンク事業は本年10月1日付で県看護協会に委託替えとなるので残額を返金することとなった。</li> <li>58年度日本看護協会総会に出席する代議員の選出を行うにあたり代議員推薦基準案を検討する。</li> <li>准看護婦は未加入者が多く研修の機会に恵まれないので入会の働きかけを准看学校より依頼された。</li> <li>地区支部連絡会の開催、問題点の有無など検討。文書の宛名を施設長及び市町村長宛とする。</li> <li>会員教育に対する執行部の姿勢として役員も交代で出席することとなった。</li> <li>本支部より浅野花子、三村芳子の両氏を職能委員として推薦することとする。</li> </ul>
第4回 11月22日	1. 第15回 日本看護学会成人看護分科会の担当について 2. 58年度代議員の推薦状況 3. 地区支部長会開催について 4. 日本看護協会長賞について	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県として成人看護（内分泌、消化器、泌尿器）を担当することについて検討する。</li> <li>代議員の推薦名簿について説明</li> <li>開催日程について検討（12月17日と決定する）</li> <li>中尾アヤコ氏を推薦する。</li> </ul>
第5回 1月20日	1. 臨時総会の運営について 2. 職能集会開催について 3. 通常総会の開催について 4. 保助看職能委員の増員 5. 支部規約の改正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムと運営について 時間配分、議長団、委任状について検討する。</li> <li>議事事項 1. 補正予算案 2. 代議員選挙</li> <li>人件費を支部から法人に移行することについて検討し総会に提案することとした。</li> <li>職能集会は臨時総会と同日のAM開催することとした。</li> <li>支部総会と県看協の2つの総会を開催する方法について検討し、午前と午後にわけて開催することとなる。</li> <li>各職能が充分活動するために各2名宛増員する。</li> <li>第12章支部総会 第26条4号、5号について改正</li> <li>第14章支部役員会、第30条役員構成について改正</li> <li>第15章支部職能委員会 第35条委員数の改正</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第6回 3月30日	1. 昭和58年度支部通常総会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総会の運営について</li> <li>• プログラム、時間配分、議長団、委任状等について</li> <li>• 議事事項           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. スローガン案の採択</li> <li>2. 決算報告</li> <li>3. 支部規約の改正案</li> <li>4. 人件費の検討</li> <li>5. 会費額の変更</li> <li>6. 事業計画案</li> <li>7. 予算案</li> <li>8. 代議員選挙</li> </ul> </li> </ul>
昭和58年度 第1回 6月3日	1. 通常総会議決事項の確認 2. 総会終了後の処理について 3. 役員、委員会合同会議の開催について 4. 関東甲信越地区地域看護研修会の担当について 5. 看護制度委員会の委員構成について 6. 地区支部費の配布について 7. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スローガン案。支部規約の改正、人件費の移行</li> <li>• 事業計画案、予算案、支部会費変更について確認</li> <li>• 支部規約の改正及び支部会費の変更について本協会に報告</li> <li>• 会員対象に総会議事事項を支部だよりに掲載する。</li> <li>• 総会議事録の確認と署名 認印</li> <li>• 役員、委員合同会議の運営と役割分担について検討する</li> <li>• 委員会を設置して企画することになった。</li> <li>委員は職能理事、職能委員、教育委員から構成する。</li> <li>• 看護行政、看護実践、看護教育にたづさわる立場から構成することになった。</li> <li>• 会員数 地域差を考慮に入れて13地区に対し総額60万円、平均4万円を配布する。</li> <li>• 第10回千葉県看護大会、第5回「千葉県民の看護婦」表彰に関する事項を検討する。</li> </ul>
第2回 9月29日	1. 地区別支部長会（宇都宮）の検討事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 看護研修センターの構想、場所、費用等について</li> <li>• 地区別看護学会のあり方について</li> <li>• 他県よりの転入者の会費について</li> <li>• 支部運営の問題点について（法人との関係）</li> <li>• 支部常任委員会のマニュアルについて</li> <li>• 支部にコンピューターを導入することについて</li> <li>• 看護制度問題のとり組みについて。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上検討</p>

年度・回数	議　題	協　議　内　容
	2. 支部機能委員会の検討事項について 3. 看護大会の開催について 4. 日本看護協会役員改選の推進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>保・老人保健活動の取組と問題点の把握</li> <li>助・母子における継続看護のあり方を考える。</li> <li>看・継続看護の充実を目的に看護サマリーの検討</li> <li>支部として会員の出席及び看護用具の展示に協力する。</li> <li>昭和59年度改選役員について本支部より機能委員を推薦することについて検討する。</li> </ul>
第3回 1月21日	1. 本協会審議委員会の出席者について 2. 第2回全国支部長会の検討 3. 日本看護協会長賞について	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議員とオブザーバーの出席をきめる(赤井、根本、湊の3名)</li> <li>本協会通常総会及び機能集会の日程と会場について</li> <li>看護研修センター建設場所と会員負担金(1人6000円)</li> <li>太田あい氏を推薦する。</li> </ul>
第4回 3月9日	1. 昭和59年度支部通常総会の開催について 2. 総会議事事項について 3. 選挙について	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程 プログラム、議長団、総会要綱作成の分担を検討する。日程は59年4月29日とする。</li> <li>報告事項…報告者をきめる。</li> <li>協議事項、支部規約の改正、事業計画案、予算案</li> <li>選挙管理委員、投票用紙等について</li> </ul>
昭和59年度 第1回 4月19日	1. 通常総会の運営について 2. 支部機能集会の開催について 3. 代議員会の開催について 4. 準備委員会の存続について 5. 第15回成人看護分科会の進行状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムにより検討する。</li> <li>議長団は2名とする(保 三村、 助 土岐)</li> <li>選挙管理委員の決定</li> <li>職能別に受付して必要資料を配布する。</li> <li>各集会における意見についてできるだけ回答する。</li> <li>午後の予定により12時までに閉会すること</li> <li>本年度は52名の代議員が出席する。</li> <li>本協会の提案事項の説明をと諸事項打合せのため代議員会を総会終了後に開催する。(59.4.27)</li> <li>最近は殆ど事務職員が準備しており研修会等の講師接待と会員の昼食時のお茶準備で委員から苦情がある。</li> <li>演題は74題提出された(15群に分ける)</li> <li>座長15名について本協会から依頼文送付</li> <li>シンポジュームのテーマと要旨について説明する。</li> <li>シンポジストについて本協会から依頼文送付の予定</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第2回 5月10日	1. 通常総会議決事項の確認 2. 総会に関する反省 3. 昭和59年度常任委員の委嘱について 4. 代議員報告について 5. 役員、委員合同会議の開催について 6. 地区支部長会開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 59年度スローガンの承認</li> <li>• 59年度事業計画案承認</li> <li>• 59年度予算案の承認</li> <li>• 看護制度に関する意見要望のとりまとめ</li> <li>• 役員間の連携、推薦委員の役割の認識</li> <li>• 発言の調整、委員長欠席時の代役、総会当日職能集会の開催は無理であること等の意見が出された。</li> <li>• 委員名簿の空欄を各職能で補充することを依頼する。</li> <li>• 支部だよりに掲載するので原稿を依頼する。</li> <li>• 各職能集会報告は職能委員会の責任とする。</li> <li>• 委員の数により周知徹底が困難と考えて2回に分けて開催する。</li> <li>• 常任委員会は(6. 6)、職能委員会は(6. 15)</li> <li>• 地区理事は実情に応じた方向づけを考えて出席する。日程は6月25日とする。</li> </ul>
第3回 8月3日	1. 看護研修センター建設資金について 2. 看護週間行事について 3. 第15回成人看護学会の反省について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本協会より会員1人 6,000円を集めよう依頼された。 当支部としての対応をきめたい。 当支部としては看護会館建設資金の醸金最中で先に延ばしたいと考える。</li> <li>• 本協会から全国的に老人看護に関するものを取り上げよう通達があったので当支部の計画を検討する。</li> <li>• 観光、昼食、交通機関、スケジュールの問い合わせ、発表者の変更等について意見が出された。</li> </ul>
第4回 11月16日	1. 支部規定の改定について 2. 会費納入及び研修センター建設資金及び用地について 3. 昭和60年度本協会改選役員委員の推薦について 4. 訪問看護事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 支部規約との関係を考慮しながら改正すること。</li> <li>• 本協会よりの情報を報告し協力を依頼する。</li> <li>• 支部からの推薦者名が出ないのはなぜか本協会に問い合わせする。</li> <li>• 委員会を設置してとりくむこととする。構成員は下記のとおり（元良、北村、今泉、中村、三橋、狩野）主体は県看協とし支部も協力する。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容														
	5. 准看護婦委員会設置について 6. 支部教育のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護制度改革にともない准看護婦の国家試験受験のための教育及び准看護婦の意識等検討議題があるので委員会を設置し委員構成を行うこととする。</li> <li>看護会館が完成したら専任の教育担当者をおくことを希望する。教育委員は常に半数が新任者であるため。</li> <li>各機能の専門性を高める研修企画を望む。</li> </ul>														
第5回 12月21日	1. 支部規程改正案と支部規約の関連について 2. 60年度総会の開催について 3. 支部理事と法人理事の兼任について 4. 地区支部会費について 5. 日本看護協会看護教育100周年記念表彰について	<ul style="list-style-type: none"> <li>規程は規約とのかねあいを考慮しながら検討する。</li> <li>支部と県看協の総会及び機能集会の開催日程について検討した結果、機能集会は別日程とし、支部と県看協の総会を午前と午後に分けて開催することとなる。</li> <li>機能集会は4月18日 総会は4月25日とする。</li> <li>時間的、経済的その他の事情により当分の間現状のままで続けることになった。</li> <li>年度末に地区支部の残金を引きあげて来たが会計上複雑なので全額を支出し、会計報告書を提出すること。</li> <li>当支部より5名を推薦する。(別掲)</li> </ul>														
第6回 2月28日	1. 支部規約の改正について 2. 支部通常総会提案事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>条文中の名称、ブロック、報告、承認関係、雑則、附則等の改正案について検討する。           <table> <tr> <td>第1章 設立</td> <td>第1条</td> </tr> <tr> <td>第2章 名称</td> <td>第2条</td> </tr> <tr> <td>第14章 支部役員会</td> <td>第33条</td> </tr> <tr> <td>第17章 地区支部及びブロック</td> <td>第44条2号</td> </tr> <tr> <td>第19章 支部規約の変更</td> <td>第47条の末尾</td> </tr> <tr> <td>第20章 雜則</td> <td>第48条</td> </tr> <tr> <td>附 則 1. の改正 7の追加</td> <td></td> </tr> </table>           以上を総会に提出することとする。         </li> <li>支部規約改正案</li> <li>60年度事業計画案</li> <li>60年度予算案</li> </ul>	第1章 設立	第1条	第2章 名称	第2条	第14章 支部役員会	第33条	第17章 地区支部及びブロック	第44条2号	第19章 支部規約の変更	第47条の末尾	第20章 雜則	第48条	附 則 1. の改正 7の追加	
第1章 設立	第1条															
第2章 名称	第2条															
第14章 支部役員会	第33条															
第17章 地区支部及びブロック	第44条2号															
第19章 支部規約の変更	第47条の末尾															
第20章 雜則	第48条															
附 則 1. の改正 7の追加																

年度・回数	議題	協議内容
	3. 総会の役割分担について 4. 60年度支部役員、委員、代議員の改選と選挙について 5. 地区支部活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担表により検討する</li> <li>推薦委員長より推薦状況の報告を受ける。</li> <li>未推薦は2地区あり至急連絡することとなる。</li> <li>これからは住民対象の看護活動の発展に力を入れたい。 又、県看協と表裏一体の事業として協力し合うこと。</li> </ul>
第7回 3月27日	1. 60年度支部通常総会の運営  2. 職能委員会活動報告と職能集会の日程について  3. 代議員会の開催について  4. 医療事故防止の標語について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムにより下記事項の分担等を協議する。 報告事項、協議事項、決算、予算、選挙、議長等について時間配分を考慮しながら検討する。</li> <li>各職能委員会活動報告の概略とまとめの進行状況について検討する。職能集会は4月18日と決定</li> <li>日程は4月18日職能集会の終了後とする。</li> <li>標語105題の応募があった。この中から10題をえらび更に3題にしづらりカラー印刷にして各施設に配布する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>見て触れて、確かな看護で事故防止</li> <li>事故防止、目くばり、気配り、思いやり</li> <li>気をつけよう、慣れの看護と思いこみ</li> </ul> </li> </ul>
昭和60年度 第1回 5月25日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 本年度の重点項目について (4項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本協会スローガン案について承認</li> <li>支部規約改正案について案のとおり承認</li> <li>60年度事業計画案について承認</li> <li>60年度予算案について承認</li> </ul> <p>以上総会において議決されたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育事業の充実強化を図る 執行部との連携、教育専任者の必要性等の検討</li> <li>看護制度改正について准看護制度廃止に関する対策として国家試験受験準備の教育について検討する。</li> <li>訪問看護事業実施にそなえて調査の実施を理事会と委員会で検討する。</li> <li>地区支部活動の充実を図る。 地区選出議員との交流を図る。 地区支部長は会員のニーズ及び住民のニーズを把握して対応すること</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
	3. 職能集会における意見要望の処理について 4. 理事の研修会担当について	・各職能からの意見要望は理事会において検討する。 ・役割表により検討し承認された。
第2回 6月27日	1. 地区支部長会開催について 2. 本協会関係事項について 3. 会議日程について	・年3回の開催とし第1回を7月開催する。 ・審議員会出席について浅野第一副支部長に依頼 ・全国支部長会の課題の検討(7.18) ・全国支部職能委員長会の開催(7.28) ・理事会は年6回程度開催の必要がある。 ・支部と県看協と合同会議のあり方について ・執行部は支部と県看協の合同日程としても議事事項により運営を考えプログラム、資料等準備すること ・議事録署名人も支部と県看協は別にすること
第3回 8月23日	1. 関東甲信越地区母性小児看護研修会の開催について 2. 老人看護月間行事について	・日程は60年9月11日～14日（4日間） 於 千葉県経営者会館 ・プログラムにより理事の分担をきめる 於 千葉県不動産会館 ・本協会にならい「老人の日」を中心に各地区で月間行事を行うことを依頼する。 ・県看協より行事費として各地区に20,000円宛配分する。
第4回 10月3日	1. 職能委員会だよりの発行について 2. 本協会改選役員の推薦 3. 日本看護協会長賞について	・委員会として情報を流したいので委員会だよりを発行したいとの申し入れがあった。理事会として「看護ちば」とのかねあい、予算等について検討する。 ・本協会よりの資料により検討する。 ・行木秀氏を推薦する。
第5回 2月21日	1. 61年度通常総会の開催について 2. 61年度職能集会の日程について 3. 61年度代議員数について	・支部と県看協の総会日程により各委員会等、総会要綱に掲載する記事について分担の割当をする。 ・61年度職能集会の日程と各職能の活動のまとめについて原稿の依頼をする。 ・61年度代議員数 57名

年度・回数	議題	協議内容
昭和61年度 第1回 4月26日	1. 昭和61年度支部総会の提出 議題及び運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム及び運営、役割分担について検討する。</li> <li>総会提出議題下記事項について検討する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 支部規約の改正案（ブロックの変更）</li> <li>2) 61年度事業計画案</li> <li>3) 61年度予算案</li> <li>4) 議長団について3名を依頼することとなった。</li> </ul> </li> </ul>
第2回 5月30日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 税務署の調査について (5/20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部規約改正案、事業計画案、予算案…承認</li> <li>役員改選のため選挙施行…選出役員の承認</li> <li>地区支部における講師の旅費謝金について指摘された。</li> </ul>
第3回 6月13日	1. 各委員会を担当する理事について  2. 地区支部長及び各委員会に対する諮問事項について  3. 支部教育の基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会 社経委員会 業務委員会及び准看護婦委員会の担当理事について協議する。</li> <li>61年度各委員会の諮問事項案により検討する</li> <li>支部教育の充実を図るために執行部と教育委員会との連携を強化して教育企画の立案をすることを決定する。</li> <li>看護教育企画検討会を設置して機能することになった。</li> </ul>
第4回 7月31日	1. 老人看護月間行事について  2. 理事会、役員会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程と催し会場の検討 (9/13) (於 千葉中央公園)</li> <li>千葉第1、第2地区支部会員の協力依頼について</li> <li>定例に開催することとする。</li> </ul>
第5回 9月27日	1) 地域看護研修会の地区支部開催について  2. 地区支部長開催について  3. 昭和62年度本協会役員委員の改選について	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域における問題を検討するには、地域看護研修会を各地区で開催する事が効果的であるとの考えに基づき協議の結果地区に依頼することとなった。</li> <li>日程、議題等について協議する。</li> <li>地区支部長会には地区理事も出席することをきめる。</li> <li>当支部より推薦する役員委員について検討する。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第6回 11月19日	1. 社会貢献者賞候補について 2. 教育企画検討会 3. 訪問看護経験交流会（本協会）出席者について （12／13～14） 4. 第19回日本看護学会の担当について（看護教育学会） 5. 看護制度問題について 6. 日本看護協会創立40周年記念表彰について 7. 支部総会、職能集会日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本協会より連絡あり、候補者として小井戸姉を推薦することに決定した。</li> <li>・当日の理事の役割分担をきめる。</li> <li>・長谷川栄子氏出席と決定</li> <li>・昭和63年度に開催予定の看護学会の担当について理事一同の賛成を得て本協会にその旨回答する。</li> <li>・看護制度改革案検討委員会を設置する。</li> <li>・日本看護協会長賞候補の推薦について検討し大薗智子氏を推薦する。</li> <li>・支部総会（62.5.22） 職能集会（62.4.24）</li> </ul>
第7回 1月30日	1. 昭和61年度事業計画について 2. 62年度研修計画について 3. 第19回日本看護学会看護教育分科会担当決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業がある場合は3月10日までに提出すること。</li> <li>・研修計画案により検討する。</li> <li>・本協会より正式に通知あり必要文書を提出する。</li> </ul>
第8回 3月28日	1. 昭和62年度事業計画案 2. 昭和62年度予算案 3. その他の総会提出事項 4. 常任委員会の見直し 5. 関プロ准看護婦研修会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案により検討する。</li> <li>・予算案により検討する。</li> <li>・地区支部規約案</li> <li>・常任委員会の廃止するもの、新設するものについて検討</li> <li>・関プロ准看護婦研修会の当番にあたるので開催の企画をして各県支部へ通知する。</li> </ul>
昭和62年度 第1回 4月30日	1. 62年度通常総会の運営について 2. フローレンスナイチンゲール博物館建設資金について 3. 地区支部規約案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムにより時間配分、議長団、役割分担、選挙、印刷物等について検討する。</li> <li>・メアリーロレンス基金理事長より大森会長宛の依頼文により趣旨説明があった。（有志より資金を集める）</li> <li>・再度案について検討する。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第2回 5月28日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 委員の委嘱について  3. 委員会の担当理事について  4. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 62年度事業計画案及び予算案…承認</li> <li>• 常任委員会一部廃止と看護制度委員会の新設…承認</li> <li>• 地区支部規約の設定…承認</li> <li>• 報告事項に長時間を要し問題である。発言は少ない。</li> <li>• 委員委嘱の案により検討する。</li> <li>• 各委員会の担当理事を案により検討の結果決定する。</li> <li>• 日本看護学会開催等の打合せ会に出席（浅野、田川）</li> <li>• 看護制度改正に関する会議に出席（浅野、内山）</li> <li>• 合同常任委員会 6月16日</li> <li>• 合同職能委員会 6月18日</li> <li>• 役員会 6月20日AM</li> <li>• 地区支部長会 6月20日PM</li> </ul>
第3回 7月22日	1. 第19回日本看護学会 看護教育分科会準備委員会 の発足について（7月22日）  2. 保健婦職能の小委員会設置 について  3. 協会組織のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 分科会の開催日程 昭和63年8月4日～5日の2日間</li> <li>• 会場 市川市 文化会館</li> <li>• 分科会長 浅野支部長 他委員9名にて構成する。</li> <li>• 保健婦業務在り方小委員会 新設承認</li> <li>• 保健婦問題検討小委員会 新設承認</li> <li>• 本協会組織と県看護協会組織との連携に関する検討</li> </ul>
第4回 8月21日	1. 老人看護月間行事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日程 昭和62年9月5日</li> <li>• 会場 千葉市中央公園</li> <li>• 行事内容の検討</li> <li>• 千葉第1、第2地区支部の協力依頼と必要人員について</li> </ul>
第5回 10月17日	1. 関プロ准看護婦研修会の運営について  2. 看護教育分科会のシンポジウムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日程 昭和62年10月27日～30日（4日間）</li> <li>• 会場 千葉県看護会館 宿泊 ちば共済会館</li> <li>• プログラム 時間配分、講師 懇親会等について</li> <li>• 協力員の役割分担について</li> <li>• シンポジウムのテーマ ねらい、講師等について検討</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第6回 11月28日	1. 協会組織の改正について 2. 63年度支部通常総会及び支 部職能集会の日程について 3. 地区支部長会開催について	・本協会、支部、県看護協会の連携について検討 ・通常総会日程 昭和63年4月27日と決定 ・職能集会日程 昭和63年5月19日と決定 ・開催は年3回とし会議内容について検討する。
第7回 1月23日	1. 昭和63年度日本看護協会総 会に支部よりの提案事項	・進学コースの増設、准看護婦から看護婦への移行措 置の考慮について ・訪問看護料を診療報酬に組入れることについて ・厚生省看護制度委員会の答申の早期実現について (4年生看護大学、准看制度廃止、男子の保健婦)
第8回 2月27日	1. 訪問看護事業研修会カリキ ュラムについて(本協会案) 2. 本協会会費値上げについて 3. 支部教育基本姿勢について 4. 63年度代議員について 5. 日本看護協会長賞について	・本協会の案により検討する。 ・意見交換を行う ・下記の2項目について検討する 1) 社会のニーズに対応し得る看護実践能力を養う 2) 専門職能人としての自己啓発の動機づけと看護 の質の向上を図る ・代議員数を64名と決定する。 ・三村芳子氏を推薦する。
第9回 3月10日	1. 支部総会提出議案の確認に ついて 2. その他	・事業計画案 案により検討する。 ・予算案 案により検討する。 ・支部規約の一部改正(第10章 選挙、第20章 プロッ クの改正について) ・本協会会費の値上げについて説明をうける ・代議員会(63.5.13) 代議員数 64名 ・支部と連盟の合同会議(63.3.26) 活動方針、活動資金、名簿集めについて協議する。
昭和63年度 第1回 4月9日	1. 総会の運営について 2. 役員会に職能理事の出席を 求めるについて 3. 教育担当者の採用条件	・プログラム、役割分担案により検討する。 ・役職の性格上役員会の構成員とすることを決定する。 ・年令、履歴、看護経験年数、看護教育、通勤距離、 性格等の面から検討する。

年度・回数	議題	協議内容
第2回 5月14日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 委員の委嘱について  3. その他会議日程について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画案、予算案、支部規約改正案の承認</li> <li>役員、委員、代議員選挙結果の確認</li> <li>本協会提案事項の説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 看護制度改正推進について</li> <li>2) 協会組織改正案について</li> </ul> </li> <li>各委員会毎に新旧の別を確認し案により適任者を確認する。</li> <li>地区支部長会 6月7日</li> <li>合同委員会 6月15日</li> <li>合同職能委員会 6月21日と決定する</li> </ul>
第3回 6月18日	1. 日本看護協会通常総会における議決事項処理について  2. 第19回日本看護学会(教育)準備状況  3. 大森文子氏叙勲記念祝賀会の出席について	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本看護協会費値上げ案の採決についての考え方</li> <li>特3類の申請状況調査依頼について報告する。</li> <li>来賓3名は 県知事、県医師会長、市川市長とする</li> <li>協力員について検討する。</li> </ul> <p>会員 26名 看護学生 42名の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月8日 PM6時 赤坂プリンスホテル 会費 20,000円 出席者をきめる。</li> </ul>
第4回 7月16日	1. 訪問看護在宅ケア総合推進モデル事業の実施について  2. 日本看護協会審議委員会の開催について  3. 老人看護月行事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生省の委託により本県は松戸市がモデル事業を実施することになった。</li> <li>その後説明会、打合せ会等を行い講習会は千葉県看護協会に委託されることとなった。</li> <li>司閥第2副支部長が出席することとする。</li> </ul> <p>9月17日 千葉市中央公園にて実施予定</p>
第5回 8月17日	1. 厚生省委託事業、訪問看護婦養成講習会について  2. 老人看護月間実施について	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程、会場、プログラム、講師、予算案について</li> <li>厚生省からの委託費 697,000円と通知あり</li> <li>役員及び千葉第1第2地区会員の協力依頼と調整</li> </ul>
第6回 10月1日	1. 第15回千葉県看護大会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程 63年11月11日 会場 千葉県看護会館</li> <li>プログラム、表彰者、記念講演等について</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容												
	2. 64年度よりの会館維持費について 3. 日本看護協会長賞について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・醸金の終了と新規入会者の調整について検討し会館維持費の財源を捻出することについて協議する。</li> <li>・小川トメヨ氏を推薦する。</li> </ul>												
第7回 12月3日	1. 支部創立40周年記念行事について  2. 地区支部規約の検討について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程を5月12日ナイチングール誕生の日としたい。</li> <li>・午前を職能集会とし午後記念式典を行う。</li> <li>・行事内容は、式典、表彰、記念講演とする。</li> <li>・来賓及び記念講演のテーマ講師について協議する。</li> <li>・地区支部長会よりの提案により一部変更する</li> </ul> <p>第7章 地区支部役員 第8条 役員の種別中、地区支部理事を幹事と改正する 第9条 地区支部総会の削除 第9章 委員会 第18条 会員委員会、看護制度委員会、準備委員会を削除し教育委員会及びその他の委員会とする。</p>												
第8回 1月30日	1. 日本看護協会よりの補助金について  2. 関プロ看護研究学会について  3. 平成元年度入会者数について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成元年度本協会補助金は下記のとおり通知された。</li> </ul> <table> <tbody> <tr> <td>教育担当者人件費</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>訪問看護事業推進担当者人件費</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>コンピューター更新補助</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>ファクシミリ 更新補助</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>関プロ研究学会</td> <td>700,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,900,000円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 平成元年10月17日～18日</li> <li>会 場 浦安市文化会館</li> <li>学会準備委員会 8名委嘱</li> <li>委託業者（宿泊観光）日本交通公社</li> <li>・8,100名として元年度の収入基礎とする。</li> </ul>	教育担当者人件費	3,000,000円	訪問看護事業推進担当者人件費	3,000,000円	コンピューター更新補助	600,000円	ファクシミリ 更新補助	600,000円	関プロ研究学会	700,000円	計	7,900,000円
教育担当者人件費	3,000,000円													
訪問看護事業推進担当者人件費	3,000,000円													
コンピューター更新補助	600,000円													
ファクシミリ 更新補助	600,000円													
関プロ研究学会	700,000円													
計	7,900,000円													
第9回 2年22日	1. 協会組織改正本部案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部案の説明及び経過措置について報告</li> <li>・支部としての意見をまとめて4月10日迄に報告する。</li> </ul>												

年度・回数	議題	協議内容
	2. 平成元年度事業計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月14日の全国支部長会を経て元年度通常総会（5月）に提案し、各県支部は1年間をかけて検討し平成2年度通常総会にて承認を得たい。</li> <li>新規事業があれば3月15日までに提出すること。</li> </ul>
第10回 3月24日	1. 平成元年度通常総会の運営について  2. 協会の組織改正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムにより時間配分を検討する。</li> <li>役割分担表により運営を検討する。</li> <li>選挙について 推薦状況、選挙管理委員、選挙準備等を検討する。</li> <li>事業計画案、予算案について再度確認する。</li> <li>検討結果のまとめを紹介する。</li> </ul>



昭和67年 支部臨時総会

年度・回数	議題	協議内容
平成元年度 第1回 4月17日	1. 平成元年度通常総会の運営について 2. 役員会の構成について 3. 支部創立40周年記念式典の延期について 4. 教育担当者の採用について	・役割分担の変更と調整 ・職能理事も役員会の構成員とする。 ・準備の都合上 5月12日の開催は困難となり延期することが承認された。 ・伊集院明子氏を採用することを承認 週2日出勤のパート 時給 1,000円とする。
第2回 5月27日	1. 通常総会議決事項の確認 2. 役員委員の委嘱について 3. 支部創立40周年記念式典の開催について 4. その他	・事業計画及び予算案確認 ・本協会提出議案（看護制度、組織改正）に対する意見 ・役員、委員の選挙結果確認 ・常任委員は主として代議員の中より委嘱することとした 各委員会新旧表により検討し委嘱することとなる ・11月9日、第16回看護大会の午前中に開催することに決定する。 ・看護会館図書の整理に「和田かよ子氏」を採用する 6月5日より出勤 月水木の週3日
第3回 7月29日	1. 保健婦職能小委員会構成員の委嘱について 2. 支部創立記念式典の表彰者の範囲について 3. 組織改正について 4. 老人月間行事について	・保健婦問題小委員会（2名）柴 英子 山本準子 ・保業あり方小委員会（2名）宮本幸枝 長谷川敬子 ・支部役員 委員の10年以上の者は少ないので6年位まで下げて多くの方を表彰したいので再調査する ・各地区支部で説明会をもち全会員に浸透させる ・本協会は精神看護行事に切りかえたが支部は老人月間行事を引きつづき行うこととし日程と会場は後日決定する。
第4回 8月26日	1. 老人看護月間行事の開催について 2. 支部創立40周年記念式典について	・日 程 平成元年 9月15日 会 場 千葉市中央公園 内 容 前年と同様 協力員 千葉第1、第2地区会員45名依頼 ・当日のプログラムの検討 ・表彰者と表彰の区分、記念品について

年度・回数	議題	協議内容
	3. 国際看護婦協会東京大会記念奨学金に対する支援	・奨学基金に対する支援についての財団よりの文書について説明する。
第5回 9月30日	1. 老人看護月間行事の反省 2. 40周年記念式典について 3. 石本茂先生感謝のつどい 4. その他会議日程について	4項目とも報告事項であった。
第6回 10月28日	1. 支部創立記念式典の運営について 2. 関プロ看護研究学会の終了と集録の処理について	・受付、来賓、賞状、記念品、式次第、運営について具体的に検討し当日の準備に万全を期す。 ・学会集録 220部の残あり一部送料込 2,000円で処理することを決定する。
第7回 11月25日	1. 支部教育担当者について  2. 平成2年度支部通常総会の開催日程について  3. 「看護ちば」表紙のデザインについて  4. その他	・瀬下律子氏が紹介され採用について検討する。 ・現在、日本看護協会看護教育センター（教員コース）に在籍中、来年3月卒業予定 最終勤務先 葛南病院 ・平成2年4月28日（金）とし、県看護協会と同日開催とすることを決定する。 ・会員から募集してみたが適当なものがないので他に名案はないか検討する。 ・石本茂元参議院議員に対し感謝の意を表して金一封を贈呈することを決定する (支部及び連盟で各10万円)
第8回 12月22日	1. 日本看護協会長賞について 2. 平成2年度予算について 3. 平成2年度支部教育立案について	・司閑節子氏を推薦する ・職能委員会費の増額と教育担当者的人件費を県看協へ移行することについて説明、了承された。 ・県看護協会教育担当理事の参加要請あり、当日の出席を依頼する。
第9回 1月26日	1. 支部保健婦職能委員会よりの要望について	・保健婦マンパワーの確保について調査し、集計分析を行った結果実情について理解を得るため県担当者に申し入れたいとの希望あり、要望書を提出する前に担当者との話合いをもち指示により行動することとなる。

年度・回数	議題	協議内容
	2. 平成2年度支部教育計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県看護研修所と日程等重複せぬ様注意することとその他については会議に一任することとする。</li> </ul>
第10回 3月2日	1. 平成2年度支部改選役員及び委員について 2. 本協会総会に出席する支部役員の日当旅費について 3. 支部長手当について 4. 地区支部費の配分について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員委員の候補者名簿により検討し調整する。</li> <li>・公文書にて出席依頼をし3日間の旅費日当を支給することを決定した。</li> <li>・種々の角度より検討した結果決定した (詳細は会議録)</li> <li>・平成元年度と同様にすることとする。</li> <li>・その他支部役員の委嘱は施設長宛とすることを希望</li> </ul>
第11回 3月31日	1. 平成2年度通常総会の運営について  2. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム、時間配分、議長団、報告事項、協議事項等役割分担表に合せて検討する。</li> <li>・改選役員、委員等について候補者名簿を一部調整する。</li> <li>・事業計画案、予算案について確認する。</li> <li>・清水かよこ氏を囲む会の出席について協議する。</li> </ul> <p>日 程 平成元年4月23日      会 場 東京プリンスホテル      本県割当 25名</p>
平成2年度 第1回 5月10日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 支部役員会に職能理事の参加を求めるについて  3. 新職種の誕生について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成2年度 事業計画案…可決の確認</li> <li>・平成2年度 予算案…可決の確認</li> <li>・本協会組織改正に関する支部の意見のまとめ、承認</li> <li>・前年度は業務多忙の面を考慮して来たが本年度からは役員会に必ず出席してもらうことになった。</li> <li>・介護福祉士、社会福祉士が制度化され職場に受け入れられているが、会員は看護と介護との認識を再確認する必要があり機会ある毎にこれを広めてゆくこととする。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
	4. 地区支部費の配分について 5. 各委員会に対する本年度の諮問事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>算定根拠及び会員数の少ない地区的調整について説明し第1回地区支部長会(6.12)で支給することとなった。</li> <li>資料により各委員会に対する諮問事項を検討した結果承認された。</li> </ul>
第2回 6月23日	1. 協会組織改正について 2. 定款、細則、規定案について 3. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本協会改正案について支部会員の意見を調査し7月7日までに本協会に回答することとなった。</li> <li>支部と県看協が1本化される場合に定款改正、細則及び規定等が必要となるので検討委員会を設置することになった。</li> <li>本協会審議員会開催 湊久代第1副支部長が出席する。</li> <li>旅費支給について領収書に認印を押すこと</li> </ul>
第3回 7月31日	1. 協会組織改正について 2. 老人看護月間行事の実施について 3. 専門看護婦制度検討委員会の設置について 4. 東葛地区に公立看護学校を設立することについて 5. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本協会より各県からの意見のまとめが報告されたので、説明をし本県のものと比較検討した。</li> <li>9月29日（土）千葉市中央公園にて開催 行事内容、協力員について検討する。</li> <li>平成2年度本協会総会で議案説明があったが支部としても特別委員会を設置して検討することが承認された。</li> <li>東葛地区の要望がまとまって來たので看護協会も共に協力してほしいとのことで賛成することとした。</li> <li>事業助成、研究助成について企業からの連絡の説明</li> <li>連盟の活動資金について協力を依頼する。</li> </ul>
第4回 8月25日	1. 老人看護月間行事の実施について	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の準備、協力員の役割分担等具体的検討を行う</li> </ul>
第5回 10月27日	1. 平成3年度支部教育の方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年度の方針を定めるにあたり、役員と教育委員は一泊して検討することになった。</li> <li>当理事会として要望があれば検討事項としたい。</li> <li>前年の教育目的、教育目標を再検討してみる。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
	2. 平成3年度支部通常総会の開催について 3. 日本看護協会長賞について 4. 「看護の日」のイベントについて 5. 看護マンパワーフォーラムの参加について	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月25日（土）の午前とすることが承認された。</li> <li>湊久代氏を推薦する。</li> <li>主体は法人であるが支部としても協力する</li> <li>本協会の実施するフォーラムに当支部より30名の出席依頼があり人選について検討した。</li> </ul>
第6回 12月8日	1. 平成3年度の教育方針について  2. 「看護の日」のイベントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員及び役員は「笠森保養センターに一泊して平成3年度支部教育について企画立案した。</li> <li>教育目的、教育目標の基に個々の研修をグループで分担し、テーマ、ねらい、講師等について検討した。</li> <li>その他下記の要望があった。               <ol style="list-style-type: none"> <li>新就職者研修会は人数が多く対応方法について検討中である。</li> <li>看護研究発表会を担当する委員会の新設要望</li> <li>保健婦業務検討会の実施責任を明確にされたい</li> <li>教育部を設置して委員の負担を軽減されたい</li> </ol> </li> <li>5月12日を中心として各地区支部においても看護週間行事を実施することとする。</li> <li>第1回「看護の日」は制定記念としてこれにふさわしい行事内容とするため、企画委員会を設置して準備にあたることになった。</li> </ul>
第7回 1月24日	1. 平成3年度支部会員数について  2. 平成3年度事業計画案について  3. 平成3年度支部職能集会の開催について  4. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算計上の関係で3年度の会員数を見積り 8,600名とした。（前年は 8,500名）</li> <li>前年度の事業を継続すると共に、新事業として下記4項目を考える。               <ol style="list-style-type: none"> <li>関東甲信越地区支部長会、職能委員長会の担当</li> <li>協会組織の改正にともなう会員討議の開催と予算</li> <li>「看護の日」に関する地区支部行事の実施と予算</li> <li>地区支部費の増額について</li> </ol> </li> <li>6月5日（水）又は6月12日（水）のいずれかとする。集会の準備について検討する。</li> <li>次期参議院選について支部の取組を強化する。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第8回 3月21日	1. 平成3年度予算について  2. 平成3年度代議員について	• 支部と法人の2本建運営で事務職員の業務量も増大しあつ複雑になっているので手当を支給したいとの提案があったが、様々な意見があり保留となった。  • 代議員数を76名とする。(2月末会員数 7,561名)
3月12日	書面理事会  1. 地区支部費の変更について  2. 「看護の日」の活動費について  3. 添付資料について	• 当初金額で 4,000,000万を計上したがその後の検討により 5,000,000万に増額したい。  (配分について後日検討する)  • 地区支部費より一部「看護の日」の活動費として4月早々に各地区支部に送金する。  • 1. 平成3年度通常総会プログラム 2. 平成2年度理事会報告 3. 平成2年度事業報告 4. 平成3年度事業計画案 5. 平成3年度予算案 6. 改選役員候補者名簿  以上、総会予告号により報告
平成3年度 第1回 4月13日	1. 平成2年度決算について  2. 平成3年度予算の変更について  3. 平成3年度支部通常総会の運営について	• 決算書により報告する。  • 収入の変更により支出も変更することになった。 1. 前年度繰越金減少 約 200万円 2. 本協会補助金増額 約 50万円 3. 以上により150万円の減を各事業費を調整して収支予算を計上した。  • 総会プログラムにより検討した 来賓、報告事項、協議事項（事業、予算組織改正） 選挙、改選役員委員、役割分担等について検討する。

年度・回数	議題	協議内容
第2回 5月8日	1. 通常総会議決事項の確認  2. 新役員委員の委嘱について 3. 地区支部費の配分について (別紙、配分表による)	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出議案はすべて賛成多数で承認されたがその時の質問意見の主なるものは次のとおりである。</li> <li>1. 災害見舞を予算化してはどうか。</li> <li>2. 保健婦業務検討会のあり方について</li> <li>3. 看護制度委員会看護婦不足対策の推進について</li> <li>4. 教育研修の機会をPRしてほしい</li> <li>5. 専門看護婦及び新職種について説明されたい</li> </ul> <p>・調整を行い資料のとおり委嘱することとした。</p> <p>・各地区前渡し金は 100,000円とする。</p> <p>均等割は 200,000円、会員1人につき 280円で計算した。振込をしたいので銀行口座番号を至急支部に報告すること。</p>
第3回 6月8日	1. 専門看護婦制度のとりくみについて  2. 関プロ支部長会及び職能委員長会の担当について 3. 地区支部費のとりあつかい 4. 浅野前支部長退職について	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護制度委員会でかかわることになった。</li> <li>このことは既に本協会よりなげかけられていたが支部としてとり組んでいなかった。</li> </ul> <p>本年度制度委員会で会員の意見をまとめることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本協会から具体的指示が来ていないが10月の7、8日位を考えている。準備は支部役員会が担当する。</li> <li>別紙とりあつかい要綱により説明する。</li> <li>浅野前支部長は看護連盟副会長に就任したので退職金とお餞別について協議した。(詳細は議事録)</li> </ul>
第4回 7月20日	1. 地区支部活動について  2. 専門看護婦制度の検討について 3. 管理者研修会の定員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区支部規約に沿った活動をしてほしい</li> <li>地区理事は地区支部に対し関心をもつこと</li> <li>地区支部役員の数は出来るだけ規約に添うこと等について検討する。</li> <li>施設代表者会に「池田明子氏」を講師に依頼し専門看護婦に対する認識を深めてもらうこととする。</li> <li>応募者は倍以上の申し込みがあるが講師の意向により50名とすることを了承された。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第5回 8月8日	1. 平成4年度役員委員の推薦及び任期について  2. 専門看護婦制度について  3. 老人看護月間行事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度に選出される役員委員は平成5年に組織が統合されるので任期は1年となることについて了承された。</li> <li>このことについて各施設での検討を依頼するととし下記の日程で実施することが了承された。           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 8月中に 各施設に検討依頼</li> <li>2. 9月10日 施設における検討</li> <li>3. 11月15日 検討結果の報告</li> <li>4. 12月初旬 理事会におけるとりまとめ</li> </ul> </li> <li>9月14日 千葉市中央公園で開催する行事内容、協力員、役割分担等の準備を行い9月初旬に打合せ会を開催することで了承された。</li> </ul>
第6回 9月26日	1. 関プロ支部長会及び職能委員長会の開催について  2. 支部提案事項について  3. 本協会改選役員委員の推薦	<ul style="list-style-type: none"> <li>日 程 平成3年10月7日～8日</li> <li>会 場 千葉市ロイヤルプラザホテル</li> <li>両日の会議において本協会から示された議題について支部長会及び各職能別に説明をする。</li> <li>出席役員協力員等の確認、集合時間、役割分担等について打合せを行った。</li> <li>関プロ支部長会に当支部より下記2項目を提案する           <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 訪問看護婦の認定について</li> <li>2. 潜在看護婦の掘りおこしについて</li> </ul> </li> <li>改選役員、委員、推薦期限について説明を行う</li> </ul>
第7回 11月6日	1. 平成4年度協会費及び入会金の一括納入について  2. 平成4年度教育企画の立案について  3. 平成4年度支部通常総会の開催について  4. 地区別研修会担当について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度新入会員について年会費と入会金を同時に納入することを提案したが協議の結果総会における承認を得て実施することとなった。</li> <li>11月26日27日の両日企画検討会を開催する。</li> <li>新規に厚生省委託「リフレッシュ研修会」を加える。</li> <li>その他企画についての希望は文書で提出すること</li> <li>平成4年4月24日（金）とすることを決定する。</li> <li>平成4年度地区別のリーダー研修会を担当する。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第8回 12月12日	1. 平成4年度事業計画案について 2. 平成5年度日本看護学会の担当について 3. 平成4年度名誉会員推薦 4. 日本看護協会会长賞について	<ul style="list-style-type: none"> <li>示された案に対して検討する。尚その他意見は月末までに報告すること。</li> <li>当支部として学会を担当しなければならないが何学会を担当するか協議した。その結果を本協会に報告した。           <ul style="list-style-type: none"> <li>第1希望として 成人看護Ⅰ（急性期）</li> <li>第2希望として 老人看護</li> <li>第3希望として 成人看護Ⅱ</li> </ul> </li> <li>本年は当県支部から推薦する適任者はなかった。</li> <li>赤坂守保氏を推薦する。</li> </ul>
第9回 1月23日	1. 関プロリーダー研修会の開催について 2. 平成4年度事業計画案について 3. 組織統合について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区別支部長会で決定済であるが下記予定で実施する</li> <li>日 程 平成4年6月9日～12日（4日間）</li> <li>会 場 千葉県看護会館</li> <li>宿 泊 ちば共済会館</li> <li>計画の一部変更あり報告説明する（職能の活動計画、関プロ研修、日本看護学会等の関係）</li> <li>統合の時期、会費の調整、事業計画、予算、役員、委員（職能、常任）等の問題について近日開催する会員代表者会で意見を聞く予定である。</li> </ul>
第10回 2月21日	1. 平成4年度会員数の見込みについて 2. 平成4年度保助看職能委員会活動計画について 3. 役員給与の改訂について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度の会員数を8,900名として収支予算案を計上することとした。</li> <li>計画案のとおり承認された。</li> <li>定昇+平成3年度ペアにより改訂することが承認された（当協会は一年おくれでベースアップをしている）</li> </ul>
第11回 3月14日	1. 平成4年度通常総会提出議案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度事業計画案</li> <li>平成4年度予算案</li> <li>協会組織統合関係</li> </ul> <p>統合年月日 平成5年4月1日 会費、事業、予算、役員、委員等に関するとりきめ</p>

年度・回数	議題	協議内容
	2. 平成4年度代議員について 3. 地区支部費の配分について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度役員、職能委員、推薦委員の推薦について推薦委員会からの提出を受けて理事一同に送付することとなった。</li> <li>会費が納入されたいない代議員について調整した。</li> <li>平成4年度の地区支部費の総額は300万円とすることを了承された。前年度より200万円の減少で活動に影響する懸念あるも理事会としては承認された。</li> </ul>
平成4年度 第1回 4月11日	1. 平成4年度通常総会の運営について  2. 平成5年度代議員の選出について  3. 平成4年度職能集会の開催について  4. 会費の値上げについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>総会プログラム、役割分担表、集合時間について協議する。</li> <li>議事運営、記録等について担当者と打合せをする (4.16)</li> <li>平成5年度は組織統合が行われるので平成4年度総会で5年度の代議員を選出することを決定した。</li> <li>日 程 平成4年4月29日（金） AM 各職能集会を開催する PM 3職能合同によるパネルとする。 テーマ「継続看護を考えるパートⅢ」 講 師 帝京短大 山崎淑子先生</li> <li>この数年予算編成に苦慮している。来年度の組織統合にあたり1,500円会費を値上げし年会費を6,000円とすることを了解し総会に提案することとした。</li> </ul>
第2回 5月23日	1. 通常総会議決事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度事業計画案承認</li> <li>平成4年度予算案承認</li> <li>組織統合に関し平成5年度より実施する諸事項の承認を確認する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>支部会費1,500円を法人会費に加える</li> <li>事業計画は支部及び県看協を統合して計画する</li> <li>支部役員、職能委員、常任委員の任期は平成5年度支部総会終了の日までとする</li> <li>統合の日時は平成5年4月1日とする。</li> <li>決算による余剰金の処理は日本看護協会の指示により処理することを執行部に一任されたい。</li> </ol> </li> </ul>

年度・回数	議　題	協　議　内　容
	2. 常任委員会の設置と諮問事項について 3. 職能委員会からの意向  4. 関プロリーダー研修会開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成5年度代議員の選出は統合後のことであるため変更が予想されるので執行部に一任することを承認</li> <li>• 平成4年度に継続する委員会について諮問事項を検討本年度は推薦委員会を廃止する。</li> <li>• 保健婦職能は小委員会を設置して活動したい</li> <li>• 助産婦職能は特になし</li> <li>• 看護婦職能は常任委員会（社経、業務）の調査の重複を調整されたいとの意見があった。</li> <li>• 前掲のとおり6/9～12までの4日間実施する。</li> <li>• 懇親会に出席する法人役員を2名とした。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（實川、中村）</p>
第3回 6月20日	1. 職能委員会活動と常任委員会活動の調整について 2. 准看護婦教育学会の開催について（8/6～8/7） 3. 第24回日本看護学会の担当について 4. 全国支部長会に対する提案事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 両者の調査が重複があるので調整の機会をもつこととする。</li> <li>• 支部として学会を支援する意味で10万円を寄付することを承認された。</li> <li>• 成人看護（1）を担当することになり7/15本協会にて打合せ会がある。實川、森の2名が出席する。</li> <li>• 当支部から下記事項を提出することが承認された。           <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成5年度学会は法人が担当することでおいか</li> <li>2. 関プロ研修や学会は各県の教育が充実して来たので廃止してはどうか</li> <li>3. 組織統合後の横のつながりをどの様に考えているか</li> </ol> </li> </ul>
第4回 7月27日	1. 第24回日本看護学会成人看護（I）の担当について  2. 看護婦職能委員会報告に対する質問の処理について 3. 平成5年度通常総会と機能集会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学会準備委員会を別紙案の構成により設置することを承認された。</li> <li>• 本年度の学会テーマは「21世紀における看護の責任と専門性」と決定している。これに関連するサブテーマによってシンポジウムを考えてゆくこととする。</li> <li>• 介護福祉士との業務の明確化について（看護と介護とのちがい）看護婦職能委員長に依頼した。</li> <li>• 組織統合が行われるのでどの様な総会や集会の持ち方を考えたらよいか継続審議となった。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
第5回 9月7日	1. 第24回日本看護学会 成人看護(1)分科会について  2. 総会と職能集会について  3. 看護管理者研修会 (ファーストレベル)について  4. 保健婦職能委員会小委員会 委員の任命について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程 平成5年9月9日～10日</li> <li>・会場 千葉県文化会館</li> <li>・学会準備委員会発足（第1回、8/7）</li> <li>・シンポジウムのテーマを「危機状態にある対象への看護を考える」とする。</li> <li>・ポスターセッションは聖賢堂を予定</li> <li>・前回よりの継続議題であるが総会より早く職能集会をもつよう協力することで了解された。</li> <li>・管理者を認定するにあたり県の行っている管理者研修との関連を調整する必要があり話合うことを了解した。</li> <li>・2名新たに任命することが承認された。</li> </ul>
第6回 10月16日	1. 組織統合後の連盟との関係 について  2. 看護管理者研修会 (ファーストレベル)の実施 内容について  3. 第24回日本看護学会 成人看護(I)のシンポジウム テーマについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連盟との関係を強化する方法として地区部会にも連盟役員を入れて構成することを依頼したが継続となった。</li> <li>・理事会にさきがけて時間を設け内容について説明した。</li> <li>・委員会における再度の検討、本協会学会部との交渉の結果さまざまな意見があり検討中である。</li> </ul>
第7回 11月25日	1. 平成5年度教育企画について  2. 福祉施設看護職員との交流 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育担当理事、及び保助看職能委員会から別紙の要望が提出されている。</li> <li>・本協会職能委員からの働きかけもあり県内福祉施設に働く看護職員との交流会をもつことを了承された。日程は来年1月13日とし濱谷職能理事が企画する。</li> </ul>
第8回 12月25日	1. 日本看護協会長賞について  2. 日本看護協会総会提案事項 について  3. 組織統合による支部財産の 引きつぎについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・實川美奈氏を推薦する。</li> <li>・理事より提案事項があれば1月10日までに提出すること</li> <li>・支部財産の引きつぎについて本協会より指示があり当支部として下記のように取扱うことを承認された。</li> </ul>

年度・回数	議題	協議内容
		1. 平成5年3月31日を以って支部会計を〆切る。 2. 現金残高を銀行に預金し残高証明をとる。 3. 残高証明を添えて県看護協会に引継ぐ。
第9回 1月27日	1. 第3回地区支部長会開催について 2. 平成5年度地区担当理事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区支部長会議題について検討する。</li> <li>統合により役員の移動があり地区毎に理事の担当は不可能となるので検討議題とする。</li> </ul>
第10回 2月24日	1. 支部史の編集について 2. 「看護の日」及び看護週間行事について	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和57年より平成4年までの11年間の支部史を編集することが承認された。</li> <li>平成5年度の「看護の日」の行事として「ふれあい看護体験」を各施設で実施することを承認された。</li> </ul>
第11回 3月24日	1. 平成4年度事業及び会計の執行状況と会計の終結 2. 支部終結総会開催について 3. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料により事業及び会計の執行状況を説明し3月31日を以って会計を〆切ることが承認された。</li> <li>プログラム、時間配分、報告事項、提出議題、議長、記録係等当日の運営と役割分担について協議する。</li> <li>平成5年度の代議員数、看護学会の準備状況等報告</li> </ul>



支部と県看協の総会は午前と午後に分けて同日に開催された

## 総会開催状況

会名	提出議題	提出理由	議決事項
千葉支部 設立総会 57年4月24日	1. 報告事項 設立に至るまでの経過報告  2. 提出議題 第1号議案 支部規約の承認  第2号議案 57年度事業計画 第3号議案 57年度予算案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支部協議会活動を含めて報告された。</li> <li>・設立理由は日本看護協会の組織改正によるものであること。 その理由は「看護は一つ」の旗印のもとに保助看三職能を統合し社会的対応の充実発展を図ることであった。</li> <li>・支部発足にあたり運営の基本となる支部規約について説明する。 (職能委員会の設置を含む)</li> <li>・職能委員会活動を含めて計画する。</li> <li>・会員数 4,500名として予算計上</li> </ul>	承認 承認 承認
57年度臨時総会 58年2月24日	1. 報告事項 2. 提出議題 第1号議案 補正予算 (委託費返金) 第2号議案 日本看護協会総会代議員の選出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時総会開催の理由について説明</li> <li>・設立より現在までの会計報告を行い県委託費の関係から補正の必要を説明</li> <li>・組織改正により改めて三職能から代議員を選出することになった。</li> <li>・推薦委員会から推薦された代議員候補の選挙を行い44名の代議員を選出する。</li> </ul>	承認 承認
58年度通常総会 58年4月26日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 支部規約の改正  第2号議案 支部職員の移籍及び人件費の移動 第3号議案 59年度支部会費の変更について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和57年度における各種活動報告</li> <li>・総会成立条件の改正</li> <li>・代議員選出基準の設定</li> <li>・役員会構成員の改正(職能理事を加える)</li> <li>・待遇条件の整っている県看護協会に移籍すること及び人件費も移動する。</li> <li>・人件費の移動、事業量等の関係で支部会費2,500円のうちから1,000円を県看護協会に移す。これにより59年度会費は 支部会費 1,500円 県看護協会費 3,000円 とする。</li> </ul>	承認 承認 承認 承認 承認

会 名	提 出 議 題	提 出 理 由	議決事項
58年度通常総会 58年 4月26日	第4号議案 58年度事業計画案 第5号議案 58年度予算案	・会員数 5,000名として予算を計上	承認 承認
59年度通常総会 59年 4月27日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 59年度事業計画案 第2号議案 59年度予算案 第3号議案 看護制度について (教育、免許、需給) 第4号議案 第15回日本看護学会の開催について	・58年度における各種活動報告 ・第15回日本看護学会事業を組み入れる ・会員数 5,500名として予算を計上 ・制度問題を会員討議に付すること及び討議結果を本協会に報告すること。 ・学会準備委員会が企画するが併せて会員の協力を依頼する。	承認 承認 承認 承認 承認
60年度通常総会 60年 4月26日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 支部規約の改正 第2号議案 60年度事業計画案 第3号議案 60年度予算案	・59年度における各種活動報告 ・名称、役員会、地区支部、ブロック関係、付則等について字句を訂正する。 ・会員数 6,000名として予算を計上	承認 承認 承認 承認
61年度通常総会 61年 5月30日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 支部規約の改正 第2号議案 61年度事業計画案 第3号議案 61年度予算案	・60年度における各種活動報告 ・5ブロックを6ブロックとする。 ・会員数 6,500名として予算を計上	承認 承認 承認 承認
62年度通常総会 62年 5月22日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 62年度事業計画案 第2号議案 62年度予算案 第3号議案 委員会の廃止と新設について	・61年度における各種活動報告 ・会員数 7,000名として予算を計上 ・会員、規約、准看の3委員会廃止 ・看護制度委員会新設(特別委員会) ・会員委員会の役割を地区支部活動に依頼する。 ・規約委員会の役割を理事会が担当する。 ・准看委員会の役割を看護制度委員会が担当する。	承認 承認 承認 承認

会 名	提 出 議 題	提 出 理 由	議決事項
63年度通常総会 63年 4月27日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 62年度事業計画案 第2号議案 62年度予算案 第3号議案 支部規約の改正 第4号議案 本協会費の値上げについて	• 62年度における各種活動報告 • 会員数 7,300名として予算を計上 • 支部役員の改選期を偶数年次と奇数年次とすることについて • 現行 2,500円であるが、64年度より 5,000円とすることについて。	承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成元年度 通常総会 元年 4月27日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 平成元年度事業計画案 第2号議案 平成元年度予算案 第3号議案 本協会総会提案事項について 1. 組織投合問題 2. 看護制度問題	• 63年度における各種活動報告 • 会員数 8,100名として予算を計上 • 支部と県看協の2本建運営の統合に関する検討について説明 • 準看護婦制度の廃止について説明	承認 承認 承認 承認 質疑応答 採決せず
平成2年度 通常総会 2年 4月20日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 2年度事業計画案 第2号議案 2年度予算案 第3号議案 日本看護協会、定款細則改正案について	• 平成元年度における各種活動報告 • 会員数 8,500名として予算を計上 • 日本看護協会の示す定款細則改正案について説明し意見交換を行う。	承認 承認 承認 採決せず
平成3年度 通常総会 3年 4月25日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 3年度事業計画案 第2号議案 3年度予算案 第3号議案 日本看護協会、定款細則の発効時期について	• 平成2年度における各種活動報告 • 会員数 8,600名として予算を計上 • 総会の採決を得て更に厚生省への申請を行う。許可後効力を発生することについて説明する。	承認 承認 承認 採決せず

会名	提出議題	提出理由	議決事項
平成4年度 通常総会 4年4月24日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 4年度事業計画案 第2号議案 4年度予算案 第3号議案 組織統合に関する諸事項について  第4号議案 代議員の出欠を執行部に一任されたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年度における各種活動報告</li> <li>統合に関する諸事項を含む</li> <li>会員数 8,900名として予算を計上</li> <li>1. 支部会費 1,500円を法人会費に加える。</li> <li>2. 支部と法人を統合した事業計画とする。</li> <li>3. 支部役員の任期は5年度総会の日までとする。</li> <li>4. 平成5年4月1日を以て統合する。</li> <li>5. 支部の残余金は支部史の作成にあてる。</li> <li>組織統合の関係から5年度の代議員の変更が予想されるので出欠について執行部に一任させていただきたい。</li> </ul>	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成5年度 支部終結総会 5年4月22日	1. 報告事項 2. 提出議案 第1号議案 支部財産の引き継ぎについて  第2号議案 支部史編集について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成4年度における各種活動報告</li> <li>残金 4,675,413円、コンピューター装置一式を県看護協会に引き継ぐこと。</li> <li>昭和57年4月24日の設立より平成5年3月31日までの11年間の支部史の編集</li> </ul>	承認 承認 承認